

創造

JA いけだ

CREATION

今月の表紙写真は2月2日（日）に沖縄サンエーで開催された、「十勝池田町フェア」の記念写真です。詳細は2～3ページをご覧ください。



CONTENTS

- ※十勝池田町フェア開催！
- ※21NEWS アラカルト
- ※池田町内JA合併推進委員会を開催
- ※営農部より
- ※金融共済課より
- ※HELLO FARMERS！

- ※畜産部通信
- ※石田邦雄の農業拾い読み
- ※今月の1枚
- ※理事会の動き
- ※編集後記

2020.

3
MARCH

No.123

フェア開催!

沖縄サンエー

令和2年2月2日（日）、㈱サンエー様、㈱ワタリ様のご協力のもと、沖縄サンエー那覇メインプレイス、具志川メインシティの2店舗で「十勝池田町フェア」が開催されました。池田町からは、ネバリスター生産者を代表して、中西綾子さん、鴨川真弓さんのおふたりが参加しました。

今までの沖縄での十勝池田町フェアでは根張星が主でしたが、今年は根張星に加えて、ゆり根、さつ姫（メークイン）、玉ねぎ、豆類など、幅広い品目を取り扱っていただきました。

当日は「根張星知ってるよ」「いつも買ってるよ」と声をかけてくださる方が多く、沖縄でも根張星の認知度が年々上がってきていることを実感しました。

また、お客様のなかにはゆり根を目にするのが初めてという方も多く、「これ何?」「どんな味がするの?」と興味津々。試食をして「ほくほくして甘いね」とゆり根のおいしさを実感し、「試しにひとつ買ってみようかな」と手に取ってくださる方もたくさんいらっしゃいました。

さつ姫については「普通のじゃがいもと何が違うの?」という声が多かったものの、試食をして「甘い!」「本当に味付けしていないの?」と驚かれる方が多く、大好評でした。

生産者のおふたりは今回が初めての店頭販売でしたが、積極的にお客様への声かけ、試食の提供を行っていただきました。また、調理方法や保存方法を尋ねてくるお客様への対応も、丁寧に行っていただきました。店頭販売が終わって、「直接お客様とお話ができて、手に取ってもらい、手渡しができたことがとても感慨深い」「多くの方が試食をしておいしいと言ってくれたことや、



(㈱ワタリ、㈱サンエーご担当者様との写真撮影)



試食の提供・お客様一人ひとりへの対応も丁寧に行っていただきました

根張星を知っていると声をかけていただいたことがとてもうれしい」といったコメントをいただきました。

農協農産課では、今後も産地と消費地をつなげることを目的に、生産者・取引先の皆様にご協力いただき、店頭販売の取組を続けて参ります。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、今回のフェア開催にあたりご協力いただきました、㈱サンエー様、㈱ワタリ様に心よりお礼申し上げます。（記事・農産部農産課 森平優子）

札幌東光ストア

十勝池田町



参加生産者と売り場の様子

令和2年1月25日（土）に、㈱ワタリ様、㈱東光ストア様ご協力のもと、札幌の東光ストア大谷地店にて、十勝池田町フェアを開催いたしました。

今回は、当JA蔬菜生産組合と馬鈴薯生産組合より計3名の生産者が店頭に出させていただきました。今回の十勝池田町フェアでは、「根張星」をはじめ、一定の基準をクリアした生産者限定のメークイン「さつ姫」他、多数の品目を販売させていただきました。

当日の天候は、あいにくの雪模様でしたが、㈱東光ストア様の事前告知効果もあり、売り場には開店から時間がたつにつれ、多くのお客様がいらしてくださいました。

来店されたお客様からは、生産者が店頭に立っていることもあり、栽培方法や美味しい食べ方など熱心に質問して下さる方が多く、また、お客様同士で美味しい食べ方を教えあう姿もあり、参加した私たちも勉強になりました。



さつ姫のソテー



根張星の生とろろ

さつ姫の試食時に「メークインなんですよ？」とあまり気乗りしていなかったお客様も、召し上がっていただくと「美味しいのね！」と印象を変えることができ、味に納得して購入していただいた姿が印象的でした。また、根張星の認知度は確実に上がっているようで「これを買いにきたのよ」「これ、美味しいわよね」と複数購入される方もいらっしゃいました。

今回参加された生産者からは、自分たちが作っている野菜をお客様から「美味しいよね！」と言ってくれ、今後の自信にもつながり、また、より一層安心・安全で美味しいものを栽培しようという気持ちになったと一同口をそろえていました。

最後に、今回の店頭販売の機会を与えてくださったこと、また多くのご協力をいただきました、㈱ワタリ様、㈱東光ストア様に厚くお礼申し上げます。

（記事・農産部農産課 岡田雄貴）



大好評さつ姫！昼過ぎにはこんな量に！

青 年 部

若手農協職員 との交流会

今回は初めての試みで、ディノスでのボーリング大会を行いました。十河耕大部長をはじめ、青年部員29名、農協職員19名が参加しました。

各チームに農協職員と青年部員を混合に配置させてもらい、交流を深めながら楽しくボーリング大会ができました。

2ゲーム終了後には、居酒屋へ移動しまして懇親会を行わせてもらい、ボーリング同様に農協職員と青年部員と混合で各席についてもらいました。懇親会の中で、表彰があり『優勝』は職員の坂東里奈さん、『準優勝』は青年部員の原誠さん、『ブービー賞』は樋口圭洋さんに賞品が授与されました。表彰の次に、若手農協職員の自己紹介をしてもらい、とても元気のいい自己紹介でした。皆さんお酒を飲みながら、普段あまり会話をしたことがない方々と打ち解けて会話をすることができたと思います。最後に、営農部 新沼部長に締めの挨拶をして頂き、とても心に残る挨拶をして頂きました。

ボーリング大会から懇親会を通して、農協職員と青年部員の交流を深めることができ、今後も交流会を大切にしたいと思いました。とても楽しい1日でした。(記事・青年部監事 市川浩吉)



懇親会の様子

講義の様子



営 農 部

スマート農業について 冬期講座が開催される

2月13日に農協冬期講座が開催され、延べ34名の組合員と後継者が参加しました。

講座は2部構成で企画され、第1部は国立大学法人帯広畜産大学の佐藤偵稔教授に「世界のスマート農業と十勝で期待されるロボットトラクタ」をテーマに、今後の農業においてICTやAIなどのスマート化の果たす役割や世界の最新スマート農機について講義をして頂きました。第2部も同大学の木下林太郎助教に「スマート施肥とドローンによる土壌診断」をテーマに、町内の土壌特性を再確認しリン酸減肥試験の結果、衛星データやドローンによる土壌特性の把握について講義をして頂きました。

両講師より、今後の農業において人手不足（オペレータ不足）や農業の精密散布等の問題について、スマート化が果たす役割が増大する事をお話いただきました。また、「農家は農業機械を見抜く目」と「次世代農業では、スマート農業やロボットが担うため使いこなせる人材育成が必要」というメッセージを頂き、限られた講義時間の中でも、出席者からの質問や相談にも対応していただきました。

(記事・営農部振興課 松村 暁)

説明会（酪農畜産履歴システム）の様子



畜産部

十勝地域組合員総合 支援システム説明会 及びGAP基礎研修会

1月27日に農協大会議室にて、標記説明会・研修会を開催致しました。

説明会では主に、酪農畜産履歴システムとWeb版マッピングシステム及び施肥設計システムについて、十勝農協連様が講師となり、ご説明していただきました。

Web版マッピングシステム及び施肥設計システムは、昨年12月にリリースされたばかりで、当年の圃場図の作成や圃場状況の入力が可能、また土壌分析の結果等に基づき施肥設計などが可能なため、肥料費などのコスト削減が期待されます。GAP（農業生産工程管理）基礎研修会についても十勝農協連様が講師となり、生産者の皆様とあらためてGAPの必要性や勘所が確認されました。説明会当日は、30名を超える生産者の皆様にお集まりいただき、多数のご意見・ご要望をいただきました。

当システムはこうした機能拡充の効果もあり、JA管内の利用も高まっております。システムをご利用いただくには、個人毎の登録が必要となりますので、まだ未登録の方がおられましたら、JA管理課までご連絡ください。

（記事・畜産部畜産課 前田実祐）

畜産部

十勝地域組合員総合 支援システム意見交換会

畜産部では1月28日～29日の両日、標記システム（酪農畜産履歴システム）についての意見交換会を開催致しました。

意見交換会では主に、普段、酪農畜産履歴システムを使っている中で、追加してほしい内容や、不便に感じること、疑問に思っていることなどを、肉牛若手生産者及び酪農家の皆様とJA担当者で話し合われました。

この意見交換会はこれまでに計5回行われ、いただいた意見は十勝農協連様に要望としてお伝えし、システム強化案としてご活用いただいております。

今後も定期的な開催により、生産者の皆様と共にシステムへの理解を深めて参ります。

（記事・畜産部畜産課 前田実祐）

1月29日 肉牛若手生産者との意見交換会



資 材 課

令和2年春の 展示即売会開催

2月6日～7日、資材課では19商社参加ご協力のもと、春の展示即売会を開催いたしました。飼料倉庫内では、農業機械の部品や酪農資材が中心に展示され、実際に商品を手に取り、春から開始される農作業に向けて多くの資材を新調される方の姿が見られました。駐車場スペースでは、トラクターやブロードキャスター、リフトなどの大型機械や自動車が表示され、実際に試乗する組合員も見受けられました。メーカー販売担当者からの機能説明や、意見交換が活発に行われ、大いに賑わいを見せた展示会となりました。

資材課では、春からの農作業に向けた農業資材や、新商品の情報提供を今後も継続してまいります。展示会に来られなかった方や来場時に気になるものがあった方は、お気軽に資材課までお問合せください。

最後に、展示会開催期間中は最強寒波に見舞われ、大変寒さの厳しい中での開催となりましたが、延べ72名の方々にご来場いただきました。ご来場いただきました組合員の皆さま、並びに出展していただきました19商社の皆様には、心より感謝申し上げます。（記事・営農部資材課 桜井綾之）

展示会の様子



腕の固定方法を教えてもらう高田職員



管 理 部

JA十勝池田救命救急講習会を開催 ～応急手当の基礎知識を学ぶ～

JAでは、冬道で転倒し怪我をした、喉を詰まらせた、病気などで倒れた人を救うために、応急手当に関する正しい知識と技術を学ぶ、救命救急講習会を1月27日（月）に実施し、職員18名が参加いたしました。

講習内容は、応急手当の重要性及び、応急手当の実技として異物除去法、管理法の処置方法などを、とかち広域消防事務組合池田消防石井職員の説明後、トレーニング用ジャ

ケットを使い異物除去法である腹部突き上げ法と背部叩打法、三角巾を使い骨折部に副木をあてて固定する手当等について一連の応急措置方法を学びました。

喉に物をつまらせて窒息死する人は、交通事故で亡くなった人の2倍以上であること、60kgの人の血液の総量は約5リットルで20%（1リットル）の出血で出血性ショックを起し、30%で命に危険が及ぶことを学び、参加者は救命技術の必要性を再認識しました。また、119番通報は、火災か救急の種類をはっきり伝え、住所は町名から番地まで正確に、怪我の時は症状や状態をしっかり落ち着いて伝える事が大切なことを知る講習となりました。

年末は、道路の凍結で転倒事故が多く救急車の出動要請が多かったことを知り、今後「万が一の時」は講習会の成果を生かし緊急時の対応に備えられるよう、継続した講習会を計画し、救命救急技術が職員全員の身につく取り組みとしたいと考えております。

（記事・管理部長 花本 敦）

施設課

季節従業員
慰労会開催

2月13日に十勝川温泉観月苑にて日頃より池田町農産物の選別作業に従事して頂いておりますパート従業員の労をねぎらう為、慰労会を開催致しました。

鈴木組合長の開会のご挨拶の中では、日頃の選別作業へのご協力に対し、パート従業員に向け感謝の言葉を頂き、和やかな雰囲気の中、慰労会は進みました。宴の半ばではビンゴやカラオケなどの余興を行い楽しんで頂きました。

今後も「安全」・「安心」な池田町の農産物を消費者の方にお届けするために、日頃よりご尽力頂いているパート従業員の働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。

(記事・農産部施設課 鈴木耕一郎)



池田町内JA合併

推進委員会を開催

合併契約調印式などについて協議

池田町内JA合併推進委員会(両JA役員による会議体)が、1月30日(木)農協本所大会議室において開催されました。前回に引き続き、両JAの全役員(合併推進委員)と池田町(勝井町長・吉田産業振興課長)、両JAの女性部及び青年部役員が出席しました。

今回の合併推進委員会では、今後のスケジュール、2月組合員懇談会の提案内容、合併契約調印式などについて協議を行いました。

次回の会議は2月28日(金)を予定しております。

(記事・金融部長 折笠大輔)

池田町・勝井町長の挨拶



営農部 よい

ロータリー等を装着したまま
公道走行が可能になりました！

ロータリー等の直装型作業機*を装着した状態のトラクターが、一定の条件を満たした場合に公道走行が可能となりました。周囲の方々への安全を第一に、注意して走行してください。

*直装型作業機：けん引タイプではない、ロータリー、ハロー、直装式ブームスプレーヤ、播種機等のトラクターに直接装着する作業機

Q. 「一定の条件」とはどのようなものですか？

A. 灯火器類、作業機の幅、最高速度、運転免許などの確認が必要となります。詳しくはお近くの農機販売店や、地方運輸局、地方農政局、（一社）日本農業機械工業会にご確認ください。

例えば灯火器類なら……

作業機を装着して灯火器類が見えなくなる場合
⇒ お近くの農機販売店で、灯火器類を増設しましょう！



国土交通省 農林水産省

【お問合せ先】
農林水産省 生産局
技術普及課 03-6744-2111



http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sisai/s_kikaika/kodosoko.html

（一社）日本農業機械工業会

日農工 公道走行



<http://www.jfma.or.jp/kouido.html>

金融共済課より

JA共済

建物更生共済

むてきプラス

収容品建更 保障1,000万プラン

農業用格納庫内の収容品の保障、考えてみませんか!?

農業用格納庫内では、このような事故、災害が起きています!

火災



- ・バッテリー、配線ショート等による火災
- ・収容品からの突発的な火災

風水災



- ・暴風により防風林が格納庫に倒れ収容品が損傷した
- ・水災により格納庫もろとも収容品が流された

雪災



- ・大雪により倒壊し収容品が損傷した

その他

- ・地震により格納庫が倒壊し収容品が損傷した
- ・農機具が盗難被害を受けた
- ・格納庫内部をトラクターで走行中、農機具等にぶつかり農機具等が損傷してしまった

JAの「むてきプラス」なら、収容品もしっかり保障!

プラス 火災や自然災害から、トラクターや農機具等、資産価値の高い収容品を保障します!

- ・火災、収容品の盗難被害の他、内部からの車両の衝突にも対応します!
- ・風災、雪災、水災、地震等の自然災害からも収容品を保障します!

【注】記載の他に保障対象となる事故、災害がございます。

【注】保障対象となる車両はトラクター等の農耕作業用小型特殊自動車とし、その他の道路運送車両法に規定する自動車は除きます。

プラス 災害時には実際に収容品を直すのに必要な額を保障します!

実際に収容品の復旧に必要な額を保障します! 【注1】【注2】

プラス 掛金負担を抑えながら大きな保障が可能になりました!

保障金額は満期共済金の最大30倍まで設定可能!

満期をご用意したい、保障を手厚くしたいと言ったニーズに応えます!

ご契約例

共済の対象：家財主契約(住宅付属建物内)
臨時費用保障30%、修理費給付特約無、
耐火C、口座振替級、年払、共済期間10年
再取得価額(収容品の価額) 3,000万円
火災共済金額 1,000万円
満期共済金額 34万円

共済掛金は・・・56,572円

10年後の満期共済金 34万円

火災共済金、自然災害共済金のお支払は・・・

火災、風災、雪災等で収容品が損傷した場合
最高1,000万円まで、実額保障します!

【注1】【注2】

【注1】お支払いは所定の条件があります。また、地震、火山の噴火、爆発、津波により発生した損害について比例てん補方式でのお支払いとなります。

【注2】約款に定める基準により算定した損害額について、ご契約金額の範囲内で保障します。

【注3】保障対象となる収容品について、上記【注】の他、機械、装置、商品、原材料、半製品、仕成品は含まれません。

お問い合わせは

十勝池田町農業協同組合 金融部金融共済課
TEL 015-572-3131

この資料は概要を説明したものです。ご契約にあたっては、「任意事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「任意事項説明書(任意事項説明書)」および「ご契約のしおり(約款)」を必ずご覧ください。

【19013506004】

有効期限：2020年3月31日まで。

HELLO FARMERS!

～ようこそ池田町へ～

外国人技能実習生のご紹介!

外国人技能実習制度とは、開発途上国の青壮年を、一定期間日本の公私の機関に受入、技能技術又は知識を習得し、開発途上国等への技術等の移転を図り、且つ「人づくり」に寄与する事を目的とするもので、近年十勝管内の農業分野でも受入が増えている新たな実習制度です。

この度、畜産部では池田町で実習している外国人技能実習生を、不定期ではありますがご紹介させていただきます。

実習先：赤松明彦牧場（昭栄地区）

実習生のプロフィール

〈写真右〉

名 前 グエン ティ バオ イエン さん

年 齢 29歳

出身地 ベトナム（クアンチ）

趣 味 ベトナム料理（特にフォーボー）

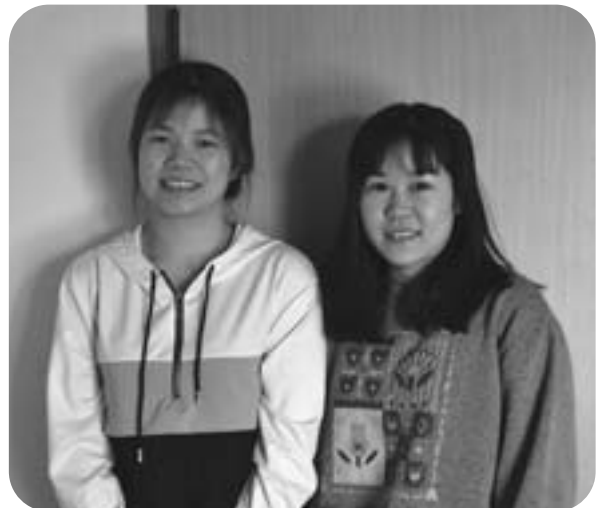
〈写真左〉

名 前 ファム ティ クイーン チャン さん

年 齢 19歳

出身地 ベトナム（ハイズオン）

趣 味 旅行

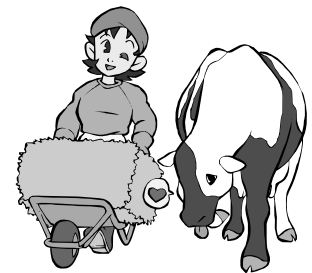


チャンさん
（1年目）

イエンさん
（3年目）

1日のスケジュール

- | | |
|-----------|-----------------------|
| AM 5:00～ | 作業開始（搾乳、餌やり、子牛のお世話など） |
| 8:00～ | 休憩（朝食や昼寝など自由時間） |
| 11:00～ | 餌やり |
| PM 12:00～ | 休憩（家族と連絡など自由時間） |
| 4:00～ | 餌やり、搾乳、子牛のお世話などの作業 |
| 7:00～ | 作業終了（たまに赤松さんとお買い物へ） |



作業で大変なこと、また、やりがいや楽しさを感じることを聞いてみました。

大変なのは餌やりなど重たい物を持つときで、やりがい等は子牛の面倒を見ているときだとおっしゃっていました。子牛がミルクを飲んでいるときは可愛くて2人とも癒されるようです。

Q&Aコーナー

Q 日本に来て困ったことはなんですか？

A ゴミの分別です。ベトナムは殆ど分別作業がないので、苦労しています。
それから、スーパーも日本語が読めないなので、商品を探すのが大変ですね。

Q 日本で食べたもので美味しかった料理はなんですか？

A イエンさん「カレーライスです」 チャンさん「ラーメンです！」

【赤松さんから聞いたプチ情報】

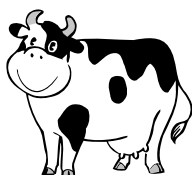
彼女たちは食べ放題や焼肉なども凄く喜びます。普段は、料理が得意なイエンさんが2人のご飯を作っていて、多く作ったときは、赤松さんにお裾分けする日もあるようです。

受入にあたっては、実習生が過ごす部屋の確保がとても重要となるようです。

赤松さんのところでは、元教員住宅を整備して使用しているようですが、今後は町内で実習生を受け入れる人が増えてきたら、住宅の確保が課題となりそうです。

チャンさんはベトナムで日本語を沢山習ってきたため、少し話すことができるものの、イエンさんは日本語で話すのが苦手なため、お仕事しながら勉強中です！

取材の際も、言葉が通じず苦労しましたが、赤松さんとは何とか通じ合ってお仕事を教わったり、会話を交わしたりしているようです。



エサやりをしているイエンさん



子牛にミルクをあげているチャンさん



左から チャンさん、イエンさん、赤松さん

赤松明彦さんからのコメント

9年前より技能実習制度を利用し、現在はベトナムより2名の技能実習生を受け入れています。
日本に来てからは、病気や怪我もなく、地域にも馴染んできているようです。普段の仕事では、搾乳時以外の飼養管理は、全て任せても心配なくやってくれているので大変助かっています。

組合員の皆様方には、何かの機会で実習生の方々にお会いする場面がございましたら、暖かい声をおかけして頂ければ幸いです。



畜産部通信

草地更新
3か年運動

草地更新のすすめ

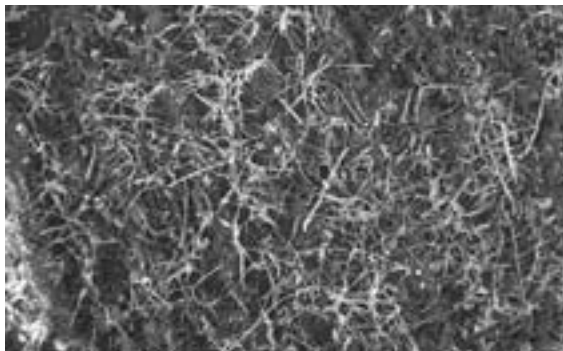
パート22

冬枯れの判断と対策方法

近年、毎年のように異常気象と言われ続けています。異常気象は春～秋の飼料作物の栽培収穫時期に限ったことではなく、冬期間も翌年の牧草生育に大きく影響を及ぼします。今回は冬期間の極端な気象経過等による冬枯れの判断と対策方法について紹介します。

1. 冬枯れ状況と判断のポイント

① 雪腐大粒菌核病による害



② アイスシートによる害



融雪後の確認！生存個体か枯死かの判断



茎の根元の中を割って見る

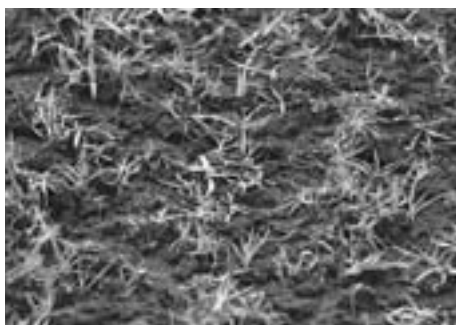


茶色であれば
枯死の可能性



緑色であれば
何とか回復する

③ 霜による浮き上がり害



霜で浮き上がり
半分が枯死して
いる状況。葉が
緑色であれば大
丈夫だが、春の
干ばつで枯死す
る可能性がある
ため、表層が乾
いたら鎮圧を行
う。

2. 手直しが必要な場合の対処方法

- ①全面枯死の場合は、播き直しが必要です。判断が遅れると、播種時期も遅れ雑草の競合問題が発生します。早めの決断が必要です。
- ②部分枯死の場合は、状況によって対応方法を考えます。以下を参考にして下さい。
- (1) 火山灰土壌などで土がフカフカの状態の場合：薄いところを中心にプロキヤス播種→鎮圧（チモシーは分げつ2本以上あれば上から鎮圧しても大丈夫です。）
 ※鎮圧なしの場合、定着率はかなり低くなります。一方、土壌が濡れているときは牧草を痛めるため鎮圧は避け、乾いてから実施します。
- (2) 土が固い場合は、作溝型専用播種機で追播する。ディスクハローを利用する場合は軽く土を攪拌し通常播種します。

3. 一番草収量不足への対策事例

対策1：エンバク利用後 → 牧草播種（8月下旬）へ

エンバク（とちゆたか）播種：5月中旬まで

播種量：8kg/10a、施肥量：N－P－K＝各成分で5kg/10a程度

収穫期：エンバク出穂始（6月下旬～7月上旬）

※ポイント：エンバクは内水分を含んでいるため見かけ上、低水分に見えるので水分調整は確実に行いましょう。

対策2：イタリアンライグラス利用後 → 牧草播種（8月下旬）へ

イタリアン（マンモスB）播種：5月中旬まで

播種量：4kg/10a、施肥量：基肥（B B 055：40kg/10a）、1番草後（B B 565：20kg/10a）

収穫期：1番草；7月上旬、2番草；8月上旬（1番草後30日目）

土壌凍結が深くなると、春の地温上昇が鈍くなります。そのため土壌は乾きにくくなり、作業機が入れず、作業が遅れることが予想されます。これらを、考慮した上で作業計画を組むことが必要です。

雪印種苗トータルサポート室 室長 龍前直紀

経過昨年に続き、1月中旬まで積雪が少なく積雪深は平年の1/3程度となっていました。

土壌凍結深も例年以上と予測されます。また、1月末に降雪があり平年並みの積雪となったことから、根雪期間が長くなり雪腐大粒菌核病の発生も懸念されるところです。

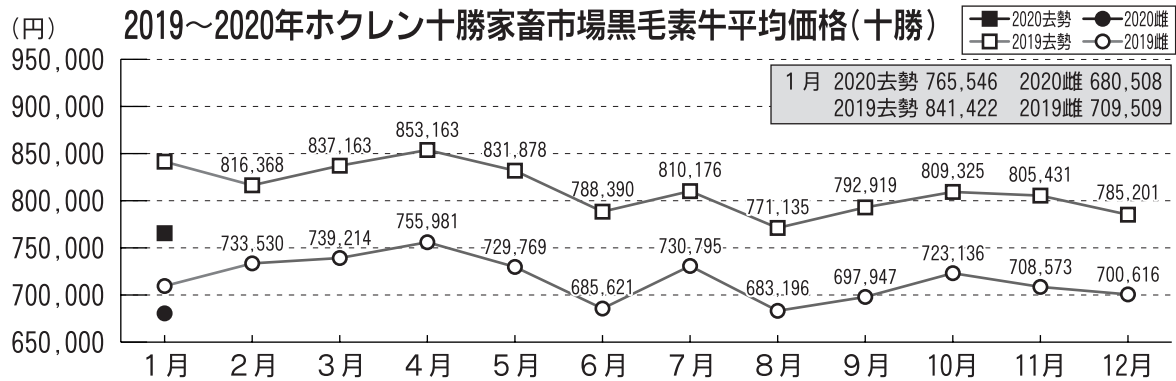


＜昨年秋に播種した草地の状況＞
 圃場の一部で積雪が無い状況も見られます 1/28撮影



畜産部通信

畜産部
畜産課



1月黒毛素牛出荷区分別成績

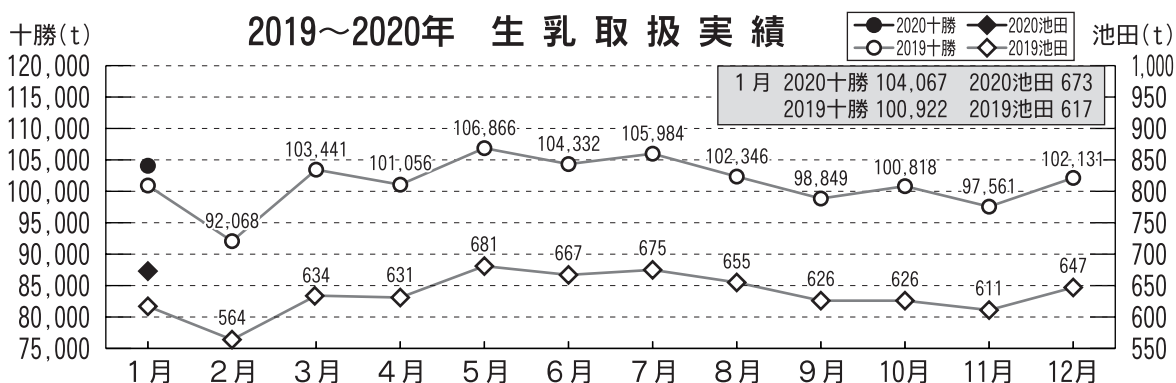
【金額(円)】

区分	取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	874	771,008	-14,193
	マニュアル参加牛	378	756,591	-32,805
	マニュアル認定牛	36	832,913	-37,063
	池田	33	738,767	-35,105
	マニュアル参加牛	29	733,890	-41,787
	マニュアル認定牛	4	714,725	-199,375
雌	和牛素牛	633	688,245	-12,371
	マニュアル参加牛	252	693,672	5,541
	マニュアル認定牛	9	764,622	-21,978
	池田	42	685,352	-15,264
	マニュアル参加牛	42	685,352	40,943
	マニュアル認定牛	2	740,850	—

1月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
11日	黒毛去勢	A-5	2,490
		A-4	2,082
		A-3	1,635
	黒毛雌	A-5	2,372
		A-4	2,110
		A-3	1,694
	F1去勢	B-3	1,420
		B-2	—
11日	F1雌	B-3	—
		B-2	—



1月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
8日	乳牛育成	489	516,784
22日	乳牛初妊	715	855,712
	乳牛経産	63	520,963

1月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	109,363	- 6,478
F1オス初生	242,045	- 2,899
F1メス初生	148,218	- 3,880
廃用牛	199,792	+ 19,345

石田邦雄の
農業拾い読み 第12回

経営理念を自分のものに

(有)石田コンサルタントオフィス
代表取締役 **石田 邦雄**



私が企業とお付き合いをする際、スタート時によく行う作業があります。それは「集団」と「組織」の違いについて考えてもらうのです。あなたならどう答えるでしょう？ 集団というのは「何ら目的もなく、ただ人が集まった状態のこと」をいいます。これであつてはJAはもとより、皆さんの事業体としても大変ですね。即ち、組織でなければなりません。ならば組織とは何か？ それは「2人以上の協働する仕組み」ということが出来ます。その為の要件は大きくは次の4つです。一つは「目的が一つになつているかどうか」です。各人の考えがバラバラで、目的が一つのところに向か

ていないとしたらチームとしての相乗効果を発揮することは出来ません。その為に必要となるのが「わが社の存在意義」といつてもよい経営理念や社是等です。これがどれだけ全体で共有化されているかが問われます。二つは「仕事や立場が違ったにしても一緒に働こうとする意欲があるかどうか」；即ち、「協働意欲の存在」です。人ですから気の合う人、合わない人がいて当たり前です。そうした中でも個人的な感情を脇において、組織人としての割り切りが求められます。三つは役割の分担です。チームとして効率をあげていく為には、「専門化」は大事なキーワードの1つです。

企業にある組織図などはその典型例で、また個人的にも仕事の割り振りをし進められているのではないでしょう。四つは「指示・命令系統の明確化」です。これがあやふやだと仕事の流れや責任等が明確ではなく、組織としての体をなしていないことになります。以上、4点が組織にとり必要な要件ともいえるものですが、さてあなたの企業はいかに？

ところでこの中でも重要になってくるのが経営理念や社是等です。確か、組合員の皆さんのところでも、これがある事業所と、ない所があるうかと思えます。少なくとも法人で経営をしているとすれば、このくらいは決めておくことが必要かと思えます。また私は「会社組織ならせめて次の3つくらいはもちたいものです」と話しをします。一つはこれまで話題にしてきた経営理念等です。2つは「3～5年後くらいにはこうなっていきたい」を文章化したビジョンです。3つは「その為に従業員各人はこれをやる」と決めている行動指針：会社といわれるかには、せめてこの3つくらいは明確にし、社会や周囲に発信をすることが大切です。特に今日の若者達は就職先を決めるにあたって、ホームページ上でこれらの情報を得てが多く、としたらこれらを上手に訴えることも人の確保面で極めて重要なことになります。

また私自身も、職業柄、その作成をするサポートの機会を頂きますが、その場合、「出来る限りシンプルに」を基本に据えています。ところでこうして多くのJAとお付き合いをしていると、中には単協としての経営理念等をもっていないところもあるようです。「JA綱領があるのだから」くらいの感じで対応しているのでしょうか。でも、昨今のJAを取り巻く環境の変化を考える時、同じJAとしても規模も違うし地域も違う。もちろん、各々の歴史も異なる。としたら単協独自にこうしたものを持つことが必要のように思うのですが。ちなみに私たちがJA十勝池田町は経営理念を初め、自己改革宣言等、立派な言葉が掲げられています。確か、作られたのは15年くらい前になるようですが、これを単なる美辞麗句で終わらせないことが大切で、どう魂を吹き込むかが求められます。

理事会の動き

第 12 回

〈令和2年2月25日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入及び脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 共計品の精算について
- (4) 職員の人事異動について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の出資金持分減口承認願
いについて
- (2) 組合員の出資金持分譲渡並びに
新規加入承認願いについて
- (3) 令和元年度決算見通しと剰余金
処分方針について
- (4) 職員に対する年度末手当の支給
について
- (5) 信用事業規定の一部改正につ
いて
- (6) 当組合における取引のリスク評
価書及びリスク総括表の一部改正
について
- (7) 令和2年度役員報酬額の答申に
ついて
- (8) 令和2年度事業計画の設定につ
いて
- (9) 令和2年度内部監査計画（案）
について
- (10) 令和2年度経営定期点検実施計
画（案）について
- (11) 令和2年度個人情報保護計画
（案）について
- (12) 地区懇談会の顛末とその対応に
ついて
- (13) 理事の組合員勘定取引供給限度
額の設定について
- (14) 員外監事候補者の選出について
- (15) 学経理事候補者の選出について

★ 協 議 案 ★

- (1) 第31回通常総会の開催日程につ
いて

今月の1枚



2JA女性部で交流

今日の1枚は、1月17日に北部コミセンで
開催された2JA女性部冬期レクレーション
での集合写真です。

午前中にさくらほりきりの作品作りを行い、
午後からお楽しみゲームを行い大変盛り上が
りました。

いま、新聞、雑誌、テレビでは「SDGs（持続可能な開発目標）」という言葉があふれています。2015年9月、国連サミットで採択された国際社会共通目標で、2030年までに達成すべき「17の目標」と「169のターゲット（具体目標）」で構成。同時に普遍的な目標として、「誰も置きざりにしない」という約束で貧困や飢餓といった問題など多くの課題を挙げています。

食に関わっている組合員皆様はSDGsの多くの領域に踏み込んでおり、青年部が取り組んでいる「食育事業」は食と農の大切さを未来に伝えてゆく大切な活動です。今年度から小学校で、来年度からは中学校でSDGsの学習を始めることになり、家族で話をする機会が多くなりそうです。目標達成まで、あと10年。普段の生活のなかでも何かできることから行動を起こしてゆきたいです。（川村）

